

令和2年度の事業報告

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人
バーチャルメディア工房ぎふ

1. 事業の成果

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、昨年の後半から既に一部の事業において変更・縮小が求められたが、今年度に入り国の施策の上においてもコロナ禍での働き方として「在宅勤務」「テレワーク」が求められる中、事業開始当初より重度障害者の働き方として「在宅就業」に取り組んでいる当法人としては、これまで積み上げてきたものを土台に、新たに浮かび上がってきた重度障害者の就労支援における課題について、寄せられる相談等が精神面のフォローアップも重要な位置づけになってきた。当法人の持ち味を活かし、対応の出来る所から取り組みを実施した。

今年度は、リモートで会議やスキルアップ等の研修をはじめ定例ミーティング等に使用するモニター等の購入投資を行いスムーズな運営が実施できた。

当法人の目的に添い、重度の障害により一般就労が困難と考えられる障害者で、①社会参加・職業的自立を目指す意欲的な人を対象に登録ワーカー(在宅就業障害者)の募集(公募)を行い、一定の能力を有すると認められる人を在宅ワーカーとして登録、②新規登録並びに在籍ワーカーが在宅で実務を通し就業能力を高めてもらうために、行政や民間企業などクライアントとの間で、企画・営業・受注・作成・納品といった業務の指導・調整を行い、就業能力を有する障害者の就労(業)活動を支援すると共に、就労の機会の得難い重度の障害者が、主に在宅就業の形で社会経済活動に参画し、社会の一員として自立・社会参加活躍ができるよう支援の取り組みを進めると同時に、同じように支援の取り組みを進める全国の団体と連携を図り、更なる障害者の在宅就業への理解と機会の拡大に向けて今後も引き続き進めていきたい。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (概算)(単位:千円)																														
				9,688																														
1 就労支援事業 ① 障害者の経済的自立を支える就労支援事業 ④ 障害者の実務教材による就労指導と技術サポート事業	<p>1) バーチャルメディア工房事業</p> <p>(1) 在宅就業障害者(登録ワーカー)の募集並びに選考</p> <p>① 募集 今年度は、登録ワーカーの募集・選考にあたり、従来からの選考基準を大きく変えることなく、一人でも多くの障害者が就労(業)の場に参加出来るよう普及・啓発・広報活動に努める中、コロナ禍を顧慮し、選考過程での面接をOn-lineにより実施。</p> <p>② 応募・選考状況 <R2.4.1~R3.3.21> (名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>身体</th> <th>知的</th> <th>精神</th> <th>難病</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>問合わせ</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>選考試験</td> <td>※ 1</td> <td>-</td> <td>※ 1</td> <td>-</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>登録者</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>予備軍等</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ On-Lineにて面接を実施</p> <p>(2) 登録ワーカーに関する相談及び研修</p> <p>① 相談及び研修の実施に当たり、 ・実務を通し業務を行う中、浮かび上がってくる課題への対応とサポート ・社会の動向に併せ必要な技術の習得のための研修の実施 ・企業や他機関・団体等との共同・協同・協働の考えの必要性に対し、登録ワーカーのマネージメント能力の育成を軸に取り組みを実施。</p> <p>② ミーティングの開催 ・コロナ禍を顧慮し、オンラインにより実施 ・業務内容・業務の遂行、ワーカー間の交流・情報交換等を目的に開催。 ※ 新規登録ワーカーに対し ・工房における在宅就業に関する規定と心構え ・工房の在宅就業業務管理システム等の説明/オリエンテーションをML・On-lineで実施</p> <p>③ 交流・親睦会の開催 ・オンラインにより<V-cafe>を2度開催)</p> <p>(3) 研修・勉強会の開催 (On-lineにより実施) 「重度障害者の一人暮らしの実現と支援」 講師：リハビリテーションヴィレッヂ 川村 享平 氏 ※ 外部講師により、在宅ワーカーからの課題の一つでもある「親亡き後」「家族介護が困難になった時」、働くための生活の基盤創り・確保のあり方等について実際の支援の現場からの事例を交え話を聞き、気軽な雰囲気質疑・応答の場を実施。</p> <p>(4) 就労管理業務 ・業務の受託(県・市・町・村、社協・関係機関、企業、他支援団体等) ・登録ワーカー等への業務の受注から配分、管理・納品、</p>		身体	知的	精神	難病	計	問合わせ	3	1	3	1	8	選考試験	※ 1	-	※ 1	-	2	登録者	1	-	-	-	1	予備軍等	-	-	-	-	1	<p>(A) 随時 (B) 法人事務所 (C) 3人</p> <p>(A) H31.4.1.~R2.3.31 (B) S J会議室 (C) 2人</p> <p>(A) 随時 (B) 法人事務所及びワーカー自宅ほか (C) 2人</p> <p>(A) R2.4.20. 6.25. 8.27. 10.22. 12.24. R2.2.25 (B) 法人事務所及びワーカー自宅 (C) 2人</p> <p>(A) 都度、必要時に実施 (B) 法人事務所・研修室 (C) 3人</p> <p>(A) R2.5.18. 6.1. (B) 法人事務所及び登録ワーカー自宅 (C) 2人+10名</p> <p>(A) R3.2.25. (B) 法人事務所及び講師・登録ワーカー自宅 (C) 3人+9人</p> <p>(A) 随時 (B) 法人事務所ほか相談者の指定場所</p>	<p>(D) 就労(業)を希望する障害者 (E) 不特定多数</p> <p>(D) 在宅ワーカー希望者 (E) 1名</p> <p>(D) 法人に登録する在宅ワーカー (E) 14名+α</p> <p>(D) 法人に登録する在宅ワーカー (E) 14名+α</p> <p>(D) 在宅ワーカー (E) 7名</p> <p>(D) 登録在宅ワーカー・社会参加・職業的自立を目指す障害児者&家族・支援機関・団体・行政担当者ほか (E) 10人</p> <p>(D) 就労始め社会参加・自立を目指す障害児者と家族・支援・事業主ほか</p>	<p>4,141</p>
	身体	知的	精神	難病	計																													
問合わせ	3	1	3	1	8																													
選考試験	※ 1	-	※ 1	-	2																													
登録者	1	-	-	-	1																													
予備軍等	-	-	-	-	1																													

	<p>実務を通し、スキルアップをはかるための指導・技術的サポートを実施</p> <p>※ 今年度は就労支援環境/設備の一部補充強化をおこなったことにより、クライアントとの業務 打合せの場に担当するワーカーの参加が可能となり、業務の進捗管理・指導・サポート面における即応性と、ワーカーのスキルアップ効果につながる手応えを実感している。</p> <p>(5) 相談・支援・指導業務</p> <p>① 障害児者・家族・保護者会等からの雇用・就労、生活全般に関する相談 (自助具等もの作り支援の橋渡しを含む) 66件</p> <p>② 事業所等からの障がい者雇用、採用後の人事管理面における対応、在宅就業等に対する相談への対応とサポート 24件</p> <p>③ その他(特別支援学校・行政・大学・機関・団体(支援当事者を含む)等からの問い合わせ及び相談) 32件</p> <p>④ ICT/A Tに関する相談・支援(含、企業からの開発参入に関する相談等) 12件</p> <p>⑤ 就労の支援(雇用・就労の機会の提供と橋渡し) 2名</p> <p>2) 在宅就業支援団体(厚生労働大臣登録 2100001号)としての活動</p> <p>(1) 就労管理業務 障害者の雇用・就労、在宅就業等に対する相談への対応とサポート</p> <p>(2) 厚生労働省との調整・連携と情報交流</p> <p>(3) 全国の支援団体との情報交換と連携の強化 ・「障がいのある方の全国テレワーク推進ネット」への参加と連携・協力 ① On Line 会議への参加</p> <p>(4) 障害者の在宅就業支援を始めようとする機関・団体等からの問い合わせや相談、見学等の対応</p> <p>(5) その他 ① 「障害者優先調達推進法」(厚生労働省 H25.4.1.施行)の普及・啓発活動 ② 在宅就業支援団体(厚生労働大臣登録 2100001)の普及・啓発活動</p>	<p>(C) 3人+外部機関・支援者</p> <p>(A) 随時 (B) 法人事務所ほか (C) 2人+ 国・県・連携団体・支援企業ほか</p>	<p>(E) 不特定多数</p> <p>(D) 就労始め社会参加・自立を目指す障害児者と家族・支援 機関・団体ほか (E) 不特定多数</p>	
<p>2 人材育成事業</p> <p>② 障害者のIT活用による社会参加の支援と人材育成事業</p>	<p>※ 今年度は、コロナ禍における対面型研修のあり方見直しにより、人材育成及び資格取得研修(福祉メディアステーション受託分)事業休止。</p> <p>新たに浮かび上がってきた重度障害者の就労支援における課題について、寄せられる相談等を中心に工房の取り組みを活かし対応の出来る所から取り組みを実施。</p> <p>(1) 郡上特別支援学校高等部担当教諭より、コロナ禍 未就職により自宅待機/引籠り状態の卒業生への対応について相談への協力支援</p> <p>(2) 長良特別支援学校高等部生徒の進路相談(生徒・保護者・教員)への対応</p> <p>(#) 大垣特別支援学校高等部生徒の職業体験実習の受け入れ/ ・ On-line による実施 ・ 期間 : 1週間 ・ 面談 : 初日・最終日に4者により実施。 ・ On-line による、在宅ワーカー3名との交流の場の設定</p>	<p>(A) 随時 (B) SJ・FMS研修室 (C) 4人+α</p>	<p>(D) 職業的自立・社会参加を目指す障害者 (E) 25人+α (不特定多数)</p>	<p>1, 574</p>
<p>3 サポート事業</p> <p>③ 障害者の在宅就労に関する情報提供と助言指導事業</p> <p>⑤ ノーマライゼーション社会実現のための普及活動事業</p> <p>⑦ 障害者の就労と生活基盤の確保のための支援協力事業</p>	<p>(1) 岐阜県障がい者技能競技大会開催準備への協力</p> <p>(2) 愛知教育大学教授より、今年度受入れの視覚(全盲)障害学生への受講支援に対する相談への対応と支援協力</p> <p>(3) 病院の医療リハセラピスト等からの依頼による、退院を控えた入院中の障害者の立家庭復帰・職業的自への情報提供と協力支援</p>	<p>(A) 開催時(含、事前打合せ・会議) (B) 東海職業能力開発大学校 (C) 1人</p> <p>(A) 随時 (B) 特別支援学校ほか (C) 2人 + α</p>	<p>(D) 職業的自立、社会参加を目指す障害児者と家族、支援者・教員ほか (E) 不特定多数</p>	<p>2, 399</p>

<p>4 研究開発参画事業</p> <p>⑥ 障害者のためのIT社会構築支援と研究開発参画事業</p>	<p>1) 「令和2年度 航空宇宙・医療福祉機器産業等競争力強化事業」における助成金交付申請案件の審査委員会 (公財) 岐阜県産業経済振興センター各務原支所</p>	<p>(A) 随時 (B) VRテクノC (C) 1人</p>	<p>(D) 職業的自立・社会参加を目指す障害児者と家族・支援者・教員・企業・団体ほか (E) 不特定多数</p>	<p>787</p>
<p>5 普及啓発事業</p> <p>⑧ 法人活動推進のための普及啓発事業</p>	<p>1) 広 報 (1) ホームページ並びに Facebook 上に開設の ・「バーチャルメディア工房ぎふ」 ・「上肢に障害者のためのスマートフォン・タブレット活用」ページによる情報の提供とネットワークの構築と運用 2) 社会資源整備に向けた調査・聞き取り・見学等の受け入れ (1) 障害者の雇用・就労に関する会議・研修、アンケート等への参加 ・お茶の水女子大学生の「ICTを活用した障害者の在宅就業の可能性とコロナによる影響」をテーマとした卒業論文用アンケート調査 ・厚生労働省による「在宅就業障害者支援制度」の活用実態把握のためのアンケート調査アンケート並びにヒアリング調査への協力 ・「新型コロナウイルス感染症の影響に係る緊急調査」ぎふNPOセンター</p>	<p>(A) 随時 (B) 法人事務所 (C) 2人 + α</p> <p>(A) 随時 (B) 法人事務所 (C) 2人</p>	<p>(D) 職業的自立社会参加を目指す障害児者と家族・支援者・教員・企業ほか (E) 不特定多数</p> <p>(D) 職業的自立社会参加を目指す障害児者と家族・支援者・教員・企業ほか (E) 不特定多数</p>	<p>787</p>
<p>そ の 他 <法人運営></p>	<p>1) 会議等の開催 (1) 総 会 1 回 (2) 理事会 1 回 (必要に応じML利用) (3) 会 議 スタッフ会議 毎週1回 在宅登録ワーカー定例ミーティング 年6回/隔月第4木曜日 ※(コロナ禍を顧慮し、オンラインにより実施) 2. 情報収集・連携業務(会議・研修・催し等への参加) (1) 研 修 ・令和2年度 厚生労働省委託事業「職業訓練サービスガイドライン研修」 ・岐阜県産業経済振興センター「医療福祉機器等開発セミナー Plus」3部 ・「リハ連携科学学会 22th.大会 On-line 「ニューノーマル時代における多職種連携」 ・ On-line KOTONASU キックオフセミナー「これからの障害者雇用に必要なもの」 ・ On-line Talk-session 「障害者と共に働く」</p>	<p>(A) 左記のとおり (B) S J 会議室 (C) 2人 + α</p> <p>(A) 随時 (B) S J 会議室 他 各開催地 (C) 1人</p>	<p>(D) 法人 役員・会員 登録ワーカー 在宅就業に関心のある障害者・家族・支援者他 (E) 村築堤多数</p> <p>(D) 職業的自立社会参加を目指す障害児者と家族・支援者・教員・企業学生ほか (E) 不特定多数</p>	

活 動 計 算 書

【税込】(単位:円)

バーチャルメディア工房ぎふ

自 令和2年 4月 1日 至 令和3年 3月31日

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	71,000		
【事業収益】			
受託事業収益	10,461,984		
【その他収益】			
受取 利息	282		
経常収益 計	282	10,533,266	
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
給料 手当(事業)	4,064,256		
職員諸手当 (事業)	413,844		
法定福利費(事業)	473,284		
福利厚生費(事業)	67,057		
人件費計	5,018,441		
(その他経費)			
諸 謝 金	104,000		
労務費 (事業)	2,180,268		
印刷製本費(事業)	159,609		
旅費交通費(事業)	42,843		
通信運搬費(事業)	66,826		
新聞図書費 (事業)	16,968		
消耗品 費(事業)	375,258		
インターネット関連費 (事業)	389,229		
水道光熱費(事業)	262,681		
共益費 (事業)	767,520		
賃 借 料(事業)	274,599		
リース料	(105,639)		
駐車場代	(168,960)		
租税 公課(事業)	11,120		
研 修 費	8,690		
支払手数料(事業)	10,373		
その他経費計	4,669,984		
事業費 計		9,688,425	
【管理費】			
(人件費)			
給料 手当	1,016,064		
職員諸手当	103,440		
法定福利費	118,314		
福利厚生費	16,763		
人件費計	1,254,581		
(その他経費)			
諸 謝 金	26,000		
労務費	276,960		
印刷製本費	4,125		
旅費交通費	32,928		
通信運搬費	22,854		
消耗品 費	222,550		
インターネット関連費	2,984		
水道光熱費	65,669		
共益費	191,880		
賃 借 料	68,649		
リース料	(26,409)		
駐車場代	(42,240)		
租税 公課	2,780		
研 修 費	2,174		
渉 外 費	10,000		
新聞図書費	12,682		
支払手数料	3,250		
その他経費計	945,485		
管理費 計		2,200,066	
経常費用 計		11,888,491	
当期経常増減額		△ 1,355,225	
【経常外収益】			
経常外収益 計		0	
【経常外費用】			
経常外費用 計		0	
税引前当期正味財産増減額		△ 1,355,225	
当期正味財産増減額		△ 1,355,225	
前期繰越正味財産額		8,401,675	
次期繰越正味財産額		7,046,450	

貸借対照表

バーチャルメディア工房ぎふ
全事業所

【税込】(単位:円)
令和3年 3月31日 現在

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未払金	968,523
普通預金	2,278,272	預り金	18,064
定期預金	3,700,005	流動負債合計	986,587
現金・預金計	5,978,277	負債合計	986,587
(売上債権)		正味財産の部	
未収金	2,033,260	前期繰越正味財産	8,401,675
売上債権計	2,033,260	当期正味財産増減額	△ 1,355,225
(その他流動資産)		正味財産合計	7,046,450
前払金	19,800		
立替金	1,700		
その他流動資産計	21,500		
流動資産合計	8,033,037		
資産合計	8,033,037	負債及び正味財産合計	8,033,037

財務諸表の注記

バーチャルメディア工房ぎふ

令和3年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっております。

【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。

科目	[税込] (単位: 円)					合計
	就労支援事業	人材育成事業	サポート事業	研究開発参加事業	普及啓発事業	
(人件費)						
給料手当(事業)	1,219,272	812,856	1,219,272	406,428	406,428	4,064,256
職員諸手当(事業)	124,152	82,764	124,152	41,388	41,388	413,844
法定福利費(事業)	141,985	94,656	141,985	47,329	47,329	473,284
福利厚生費(事業)	20,117	13,411	20,117	6,706	6,706	67,057
人件費計	1,505,526	1,003,687	1,505,526	501,851	501,851	5,018,441
(その他経費)						
諸謝金	31,200	20,800	31,200	10,400	10,400	104,000
労務費(事業)	1,404,780	221,568	332,352	110,784	110,784	2,180,268
印刷製本費(事業)	148,050	3,303	4,954	1,651	1,651	159,609
旅費交通費(事業)	3,732		39,111			42,843
通信運搬費(事業)	20,048	13,366	20,048	6,682	6,682	66,826
新聞図書費(事業)	5,090	3,394	5,090	1,697	1,697	16,968
消耗品費(事業)	240,160	38,598	57,900	19,300	19,300	375,258
インターネット関連費(事業)	380,868	2,388	3,583	1,195	1,195	389,229
水道光熱費(事業)	78,804	52,537	78,804	26,268	26,268	262,681
共益費(事業)	230,256	153,504	230,256	76,752	76,752	767,520
賃借料(事業)	82,380	54,921	82,380	27,459	27,459	274,599
リース料	(31,692)	(21,129)	(31,692)	(10,563)	(10,563)	(105,639)
駐車場代	(50,688)	(33,792)	(50,688)	(16,896)	(16,896)	(168,960)
租税公課(事業)	3,336	2,224	3,336	1,112	1,112	11,120
研修費	2,607	1,738	2,607	869	869	8,690
支払手数料(事業)	4,652	1,633	2,452	818	818	10,373
その他経費計	2,635,963	569,974	894,073	284,987	284,987	4,669,984
合計	4,141,489	1,573,661	2,399,599	786,838	786,838	9,688,425

財 産 目 録

バーチャルメディア工房ぎふ
全事業所

[税込] (単位: 円)
令和3年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
普通預金	2,278,272		
定期預金	(2,278,272)		
現金・預金計	3,700,005		
(売上債権)			
未収金	2,033,260		
受託事業収益	(2,033,260)		
売上債権計	2,033,260		
(その他流動資産)			
前払金	19,800		
立替金	1,700		
その他流動資産計	21,500		
流動資産合計		8,033,037	
資産合計			8,033,037
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金	968,523		
社会保険	(49,373)		
事業経費	(183,894)		
給与等	(735,256)		
預り金	18,064		
給与源泉税	(△ 3,404)		
報酬源泉税	(12,252)		
雇用保険	(9,216)		
流動負債合計		986,587	
負債合計			986,587
正味財産			7,046,450

令和2年度 社員のうち10人以上の者の名簿

令和3年3月31日 現在

特定非営利活動法人 バーチャルメディア工房ぎふ

氏 名	住所又は居所
青山 和幸	
上村 数洋	
中根 啓如	
荻谷 久爾	
篠田 義人	
平田 英毅	
山本 格生	
古川 カヨ	
川崎 直也	
黒田 智子	
山家 潤	